HPC通信

半夜出船のハマチ釣り

●福井県敦賀市・色浜出船

WINDIE（若狭GT倶楽部スタッフ）

例会で半夜のハマチ釣り
日没前は単発ヒットのみ

10月25日（土）、クラブの月例会に参加。8名で船を仕立てて、半夜でハマチを狙いました。今回、お世話になった船宿は、福井県敦賀市色浜の甚五郎丸さんです。この時期の若狭はハマチ釣りが大人気で、半夜便、深夜便ともに好釣果が得られます。

当日は天候にも恵まれ、絶好の釣り日和。海上の波は1mとの予報でした。

週末の渋滞を避けるために、集合時間は少し早めの午後2時。そして定刻に集合場所へ到着すると、すでに気の早いメンバー数名は船に乗り込んでいました。午後3時前にはメンバーが全員揃ったので、荷物を船に積み込んで釣り座をジャンケンで決めます。私の釣り座は右舷ミヨシに決まりました。

そして、予定より早い午後3時ちょっと過ぎに出船。向かうポイントは敦賀半島の白木沖です。約20分で到着しましたが、少し潮が速いようです。時間が早いこともあり、ここを断念して敦賀半島西側の美浜沖へと向かいました。

ポイントに到着したのは午後4時過ぎ。私は慌てずにゆっくり道具を取り出し、準備に取りかかりました。マキエは冷凍オキアミを3ブロック、サシエはスルメイカの切り身を用意。仕掛けはワラサが掛かる可能性があるので、太めの12号ハリスでやることにしました。オモリは船中統一で100号です。「やって！」との船長の一声で、仕掛けを投入。水深40mの底から1m上でアタリを待ちます。

船長からはしっかりコマセを効かせるようにとのアドバイス。私はハマチが集まってくるように祈りながら、仕掛けを投入しました。

開始から30分が経過した頃、トモで1匹上がりましたが、後が続きません。単発的に5、6匹上がっただけです。時合が訪れる前に見切りをつけ、午後5時頃に少しポイントを移動しました。

集魚灯とともに時合到来
短時間でクーラー満タン

この頃になると、海上には他の遊漁船が30隻ほど並んでいます。土曜日だということは分かりますが、改めて若狭のハマチ釣りの人気ぶりを思い知らされました。船長はポイントを決めるために、魚群探知機と睨めっこ。3回目の移動でやっとポイントが決まりました。船長の顔を見ると二ッコリ顔。ここが決戦の場になるようです。

午後6時頃、集魚灯が点きました。水深は50m。序々に群れが寄ってきたのか、トモから竿が曲がりはじめました。船長のテンションも上がり、「後はみんなが主役だ。頑張れよ！」と激励されます。しかし、私の竿はまだ曲がりません。出遅れて少々焦り気味です。すると、「新しいエサに替えてやってみろ」と船長からアドバイス。マキエを撒くことに夢中になって、サシエのチェックを怠っていました。

ミヨシでオマツリするのを避けるため、ついでにオモリも120号に取り替えて仕掛けを投入。すると、ついに待望のアタリです。私は1～2mに巻き上げては止めて、追い食いをさせます。そして竿が半月状態になったところで巻き上げ取り込んでみると、5本バリ仕掛けにハマチがパーフェクト。周りも好調なようです。デッキでハマチがバタバタと暴れる音が、あちこちから聞こえています。船の下でハマチの群れているのを実感できるほどでした。

群れに当たってからは忙しいモードが続き、2時間30分ほどでほぼ全員のクーラーが満タンになりました。午後8時頃に少しアタリが遠のいたので、早めの沖上がりとなりました。釣果は船中でハマチを200匹以上。それに35～40cmのシオも交じりました。私の釣果も40～45cmのハマチが38匹と、50ℓのクーラーがほぼ満タンです。午後8時30分に帰港してクラブの恒例行事も無事終了。十分に満足のできる釣行でした。

◆　◆

これからの時期、日本海は荒れる日が多くなりますが、ハマチは旬です。ぜひハマチの引きを楽しんでみてください。また、ハマチが終わる頃には、タルイカが盛期を迎えます。あのスミを豪快に吐く姿と引きは釣り人を楽しませてくれるでしょう。

なお、ご質問があれば、私のホームページをお気軽に訪ねてください。

▼ホームページ
http://www5a.biglobe.ne.jp/~windie

▼アクセス　北陸自動車道・敦賀ICを出て市街地方面に向かい、国道476号線経由で県道33号・佐田竹波敦賀線を西進。気比の松原の脇を抜けて敦賀半島東岸を北上して色浜へ。

▼問い合わせ　甚五郎丸（☎0770・26・1740）

時合に乗り遅れたものの船長の助言で好釣果です。

時合が到来してからまさに入れ掛かり。2時間半ほどでクーラーは満タンです。

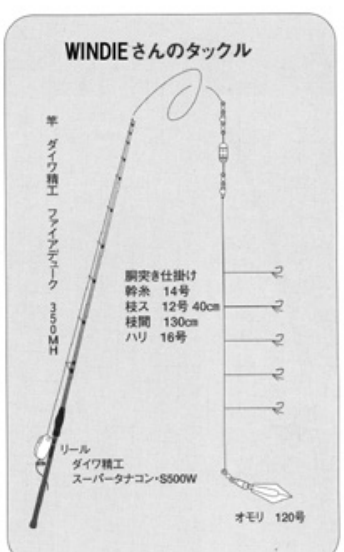
ジギングで狙うワラサ

●福井県敦賀市・色浜出船

吉田　一彦（第六天丸船釣り倶楽部）

初の釣り方に苦戦するも
友人真似て本命をゲット

11月2日、敦賀で初めてジギングにチャレンジしてきました。ターゲットはハマチにワラサです。晩秋は敦賀方面の夜釣りでバンバンに上がる時期なので、それを昼にジギングで釣ろうという話です。

以前から本格的なジギングがやりたくて友人に連れて行ってと頼んでおいたら、「週末に行くけど来るかい」とのお誘いがありました。行きたいけれど道具を持ってないと連絡を入れたら、一式貸してくれるとのこと。しかも友人は今シーズンだけで10匹以上のワラサを釣り上げているそうです。いやが上にも期待が膨らみます。

当日、午前8時頃に出船。ポイント到着までにラインシステムの講義を受けます。15分ほどでポイントに到着。まずはいろんなパターンのシャクリ方を教えてもらいながらのスタート。しかし、リーリングとシャクリがうまくシンクロしません。ミヨシ側の隣で釣っている友人は、手馴れた感じで誘っていました。そこで、友人のシャクリを観察。リールを5回ほど巻いてシャクリを入れています。私も彼のパター